

# 決算説明資料

(2023年度 第2四半期)

2023年10月2日



- 1 2023年度 第2四半期の決算概要
- 2 2023年度 通期の業績予想
- 3 トピック紹介

1

## 2023年度 第2四半期の決算概要

# 1. 業績サマリ

- 前年同期と比較して売上は13.1%増加し、営業利益は211百万円（営業利益率2.1%）で着地。
- 前年同期に特別利益（980百万円）があった反動等から、親会社株主に帰属する当期純利益は減少。

(単位：百万円)	2021年度上期	2022年度上期			2023年度上期			
	金額	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比	
							増減額	増減率
売上高	11,187	8,813	100.0%	▲21.2%	<b>9,964</b>	100.0%	+1,151	+13.1%
売上総利益	2,472	1,583	18.0%	▲35.9%	<b>1,955</b>	19.6%	+371	+23.5%
販売費及び一般管理費	1,418	2,033	23.1%	+43.3%	<b>1,743</b>	17.5%	▲289	▲14.2%
営業利益	1,053	▲449	▲5.1%	—	<b>211</b>	2.1%	+661	—
経常利益	1,229	▲109	▲1.2%	—	<b>514</b>	5.2%	+624	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	850	635	7.2%	▲25.3%	<b>236</b>	2.4%	▲399	▲62.8%
1株当たり当期純利益	32.36円	24.15円	—	▲25.4%	<b>8.95円</b>	—	▲15.20円	▲62.9%
設備投資額	1,819	524	—	▲71.2%	<b>197</b>	—	▲327	▲62.4%
減価償却費	226	426	—	+88.3%	<b>410</b>	—	▲15	▲3.6%

## 2. 売上の推移（地域別）

- 欧州向けの受注案件が進捗中であり、欧州向け売上高が引き続き好調（売上構成比15.2%）。
- 中国向けの売上高は、ロックダウンのあった前年同期比で34.4%増と改善するも2,286百万円と低水準。

↑：直前の半期と比較して増加

↓：直前の半期と比較して減少

(単位：百万円)	2021年度上期		2021年度下期		2022年度上期		2022年度下期		2023年度上期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
日本	↓ 2,413	21.6%	↑ 3,689	29.8%	↓ 2,635	29.9%	↑ 2,786	15.8%	↓ <b>2,491</b>	25.0%
中国	↓ 3,061	27.4%	↑ 4,390	35.4%	↓ 1,701	19.3%	↑ 7,848	44.4%	↓ <b>2,286</b>	23.0%
アジア	↑ 2,780	24.8%	↓ 2,635	21.3%	↓ 2,113	24.0%	↑ 4,405	24.9%	↓ <b>2,416</b>	24.2%
欧州	↓ 1,537	13.7%	↓ 394	3.2%	↑ 1,050	11.9%	↑ 1,571	8.9%	↓ <b>1,518</b>	15.2%
北米	↑ 226	2.0%	↓ 162	1.3%	↑ 788	8.9%	↓ 357	2.0%	↑ <b>587</b>	5.9%
中南米	↓ 846	7.6%	↑ 1,111	9.0%	↓ 516	5.9%	↑ 699	4.0%	↓ <b>371</b>	3.7%
アフリカ	↑ 322	2.9%	↓ 9	0.1%	↓ 8	0.1%	↑ 21	0.1%	↑ <b>292</b>	2.9%
合計	11,187	100.0%	12,393	100.0%	8,813	100.0%	17,691	100.0%	<b>9,964</b>	100.0%

### 3. 売上の推移（製品の種別別）

- 引き続き大人用紙おむつ製造機械が売上を牽引し、上半期の売上構成比は50%を上回る。
- 小児用紙おむつ製造機械は1,485百万円に留まり、製品別の開示を始めた2019年度以降で最も低い半期売上。

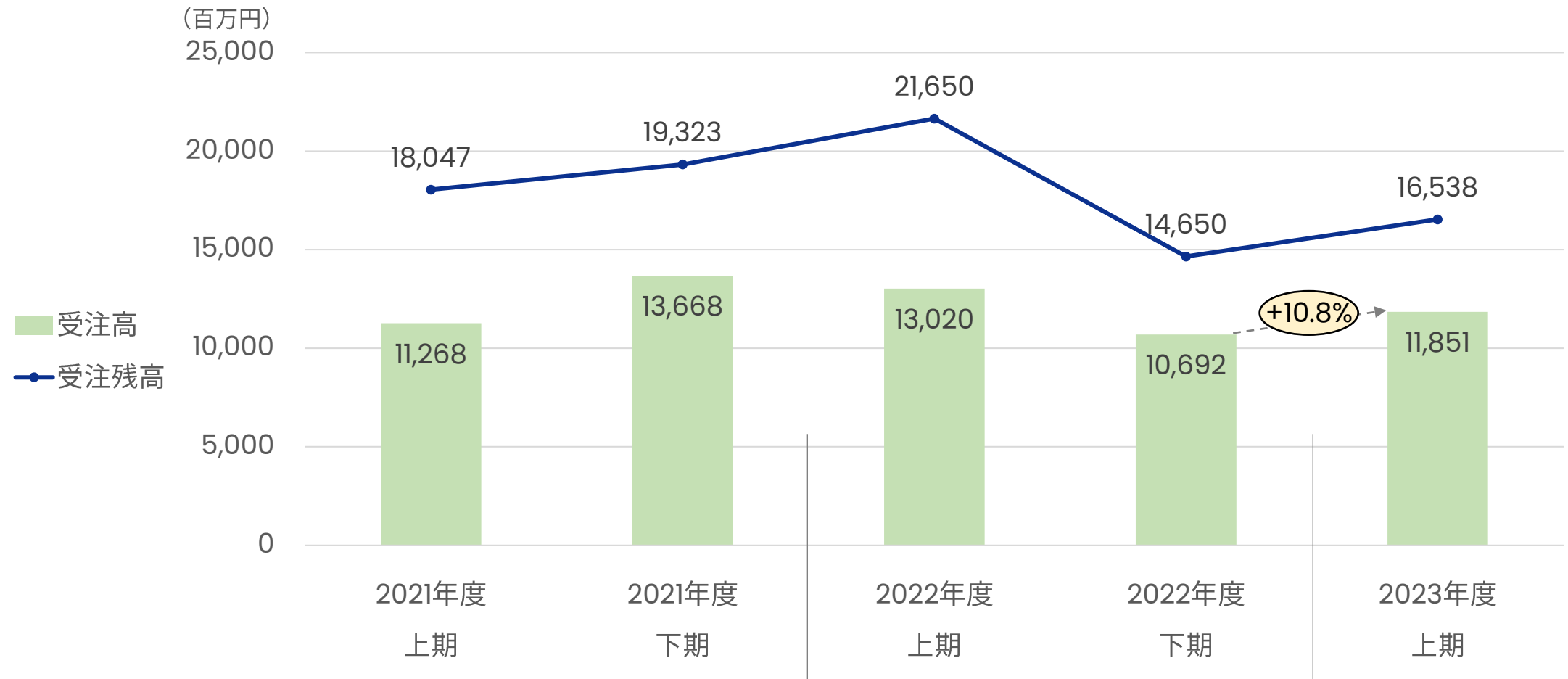
▲：直前の半期と比較して増加

▼：直前の半期と比較して減少

(単位：百万円)	2021年度上期		2021年度下期		2022年度上期		2022年度下期		2023年度上期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
生理用ナプキン製造機械	▼ 1,700	15.2%	▲ 2,054	16.6%	▼ 461	5.2%	▲ 3,363	19.0%	▼ <b>1,694</b>	17.0%
小児用紙おむつ製造機械	▲ 6,312	56.4%	▼ 4,805	38.8%	▼ 3,524	40.0%	▲ 6,703	37.9%	▼ <b>1,485</b>	14.9%
大人用紙おむつ製造機械	▼ 1,157	10.4%	▲ 3,410	27.5%	▼ 2,905	33.0%	▲ 5,635	31.9%	▼ <b>5,156</b>	51.8%
その他機械	▼ 966	8.6%	▼ 648	5.2%	▼ 527	6.0%	▲ 764	4.3%	▼ <b>480</b>	4.8%
部品	▲ 839	7.5%	▲ 1,198	9.7%	▼ 1,156	13.1%	▼ 1,049	5.9%	▼ <b>1,039</b>	10.4%
その他	▼ 211	1.9%	▲ 275	2.2%	▼ 237	2.7%	▼ 175	1.0%	▼ <b>106</b>	1.1%
合計	11,187	100.0%	12,393	100.0%	8,813	100.0%	17,691	100.0%	<b>9,964</b>	100.0%

## 4. 受注動向（全体）

- 当期上半期の受注は、前期下半期と比較して10.8%の増加。
- 2023年上期末時点の受注残高は16,538百万円。



## 4. 受注動向（製品の種類別）

受注高 (単位：百万円)	2021年度上期		2021年度下期		2022年度上期		2022年度下期		2023年度上期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
生理用ナプキン製造機械	551	4.9%	3,101	22.7%	718	5.5%	1,924	18.0%	<b>1,838</b>	15.5%
小児用紙おむつ製造機械	4,833	42.9%	7,029	51.4%	5,067	38.9%	▲ 237	-2.2%	<b>4,554</b>	38.4%
大人用紙おむつ製造機械	3,213	28.5%	85	0.6%	5,165	39.7%	7,203	67.4%	<b>3,681</b>	31.1%
その他機械	1,618	14.4%	1,978	14.5%	675	5.2%	575	5.4%	<b>630</b>	5.3%
部品	839	7.4%	1,198	8.8%	1,156	8.9%	1,049	9.8%	<b>1,039</b>	8.8%
その他	211	1.9%	275	2.0%	237	1.8%	175	1.6%	<b>106</b>	0.9%
合計	11,268	100.0%	13,668	100.0%	13,020	100.0%	10,692	100.0%	<b>11,851</b>	100.0%

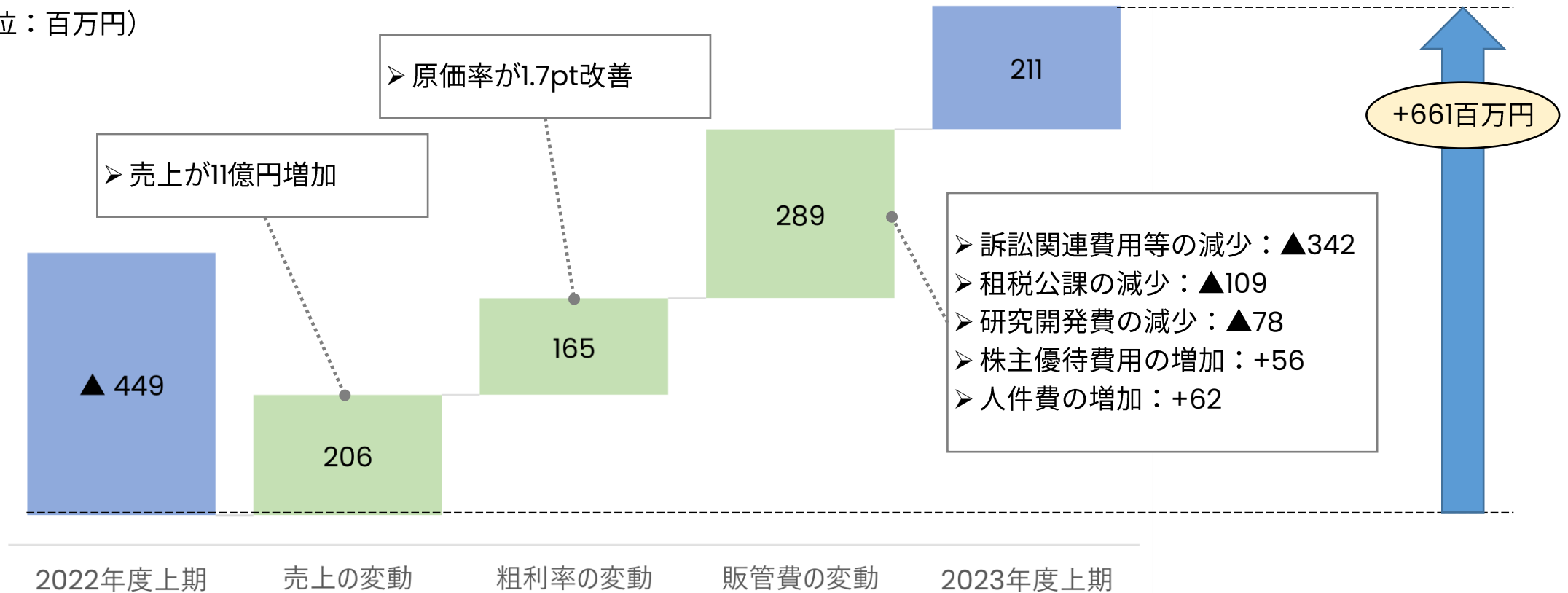
受注残高 (単位：百万円)	2021年度上期		2021年度下期		2022年度上期		2022年度下期		2023年度上期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
生理用ナプキン製造機械	2,167	12.0%	3,214	16.6%	3,471	16.0%	2,032	13.9%	<b>2,176</b>	13.2%
小児用紙おむつ製造機械	6,759	37.5%	8,982	46.5%	9,051	41.8%	2,111	14.4%	<b>5,180</b>	31.3%
大人用紙おむつ製造機械	7,301	40.5%	3,976	20.6%	7,762	35.9%	9,330	63.7%	<b>7,855</b>	47.5%
その他機械	1,819	10.1%	3,149	16.3%	1,364	6.3%	1,175	8.0%	<b>1,325</b>	8.0%
合計	18,047	100.0%	19,323	100.0%	21,650	100.0%	14,650	100.0%	<b>16,538</b>	100.0%



## 5. 営業利益の増減要因（前年同期比）

- 営業利益は前年同期比で661百万円の増益。
- 売上増加と原価率改善により売上総利益が371百万円の増加、販管費は289百万円の減少。

（単位：百万円）



## 6. 営業外損益・特別損益

(単位：百万円)		2022年度上期	2023年度上期	増減額	
営業外 収益	受取利息	67	94	26	
	受取配当金	19	15	▲3	
	為替差益	257	165	▲92	
	その他の営業外収益	24	57	32	
営業外 費用	支払利息	9	9	0	
	社債利息	12	12	—	▶ 保有株式の縮減
	その他の営業外費用	7	7	0	
特別 利益	固定資産売却益	1	0	▲1	
	投資有価証券売却益	213	0	▲213	▶ 中国子会社での訴訟による和解金
	受取和解金	765	0	▲765	
特別 損失	固定資産売却損	3	0	▲3	
	固定資産除却損	3	1	▲2	▶ マスク製造装置の評価損など
	リース解約損	0	1	1	
	減損損失	0	205	205	

# 7. 貸借対照表

(単位：百万円)	2022年度末		2023年度上期末		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比増減額
流動資産	31,180	62.8%	<b>31,567</b>	63.2%	+386
現金及び預金	14,030	28.3%	<b>12,313</b>	24.7%	▲ 1,717
売上債権	10,844	21.8%	<b>11,644</b>	23.3%	+799
棚卸資産	5,137	10.3%	<b>6,731</b>	13.5%	+1,593
その他流動資産	1,167	2.4%	<b>878</b>	1.8%	▲ 288
固定資産	18,462	37.2%	<b>18,356</b>	36.8%	▲ 105
有形固定資産	16,096	32.4%	<b>15,863</b>	31.8%	▲ 233
無形固定資産	717	1.4%	<b>684</b>	1.4%	▲ 32
投資その他の資産	1,648	3.3%	<b>1,808</b>	3.6%	+160
資産合計	49,643	100.0%	<b>49,924</b>	100.0%	+281
負債	16,554	33.3%	<b>16,017</b>	32.1%	▲ 537
仕入債務	4,771	9.6%	<b>4,743</b>	9.5%	▲ 28
有利子負債	7,767	15.6%	<b>7,642</b>	15.3%	▲ 125
契約負債・前受金	2,009	4.0%	<b>1,683</b>	3.4%	▲ 325
その他負債	2,005	4.0%	<b>1,947</b>	3.9%	▲ 57
純資産	33,088	66.7%	<b>33,907</b>	67.9%	+819
負債純資産合計	49,643	100.0%	<b>49,924</b>	100.0%	+281

➤ 電子記録債権の増加：+878

➤ 仕掛品の増加：+1,062  
➤ 原材料・貯蔵品の増加：+541

➤ 当期純利益：+236  
➤ 剰余金の配当金：▲450  
➤ 為替換算調整勘定：+893  
➤ その他有価証券差額金：+115

	2022年度末	2023年度上期末
DEレシオ	0.23倍	0.23倍
自己資本比率	66.5%	67.8%

## 8. キャッシュ・フロー

- 売上債権や棚卸資産が増加した影響で、営業CFは1,416百万円の支出。
- 定期預金の減少により、投資CFは1,425百万円の収入。

(単位：百万円)	2022年度上期	2023年度上期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 764	▲ <b>1,416</b>	▲ 651
投資活動によるキャッシュ・フロー	786	<b>1,425</b>	638
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 434	▲ <b>620</b>	▲ 186
現金及び現金同等物の増減額	116	▲ <b>349</b>	▲ 465
現金及び現金同等物の期末残高	9,518	<b>7,530</b>	▲ 1,987
フリー・キャッシュ・フロー	21	<b>8</b>	▲ 13

### 当期のキャッシュ・フローの主な内訳

#### 営業キャッシュ・フロー

- 税金等調整前当期純利益：306
- 売上債権の増加：▲671
- 棚卸資産の増加：▲1,200
- 契約負債の減少：▲462
- 減価償却費：410

#### 投資キャッシュ・フロー

- 定期預金の減少：1,641
- 有形固定資産の取得：▲195

#### 財務キャッシュ・フロー

- 配当金の支払い：▲450
- 長期借入金の返済：▲125

2

2023年度 通期の業績予想

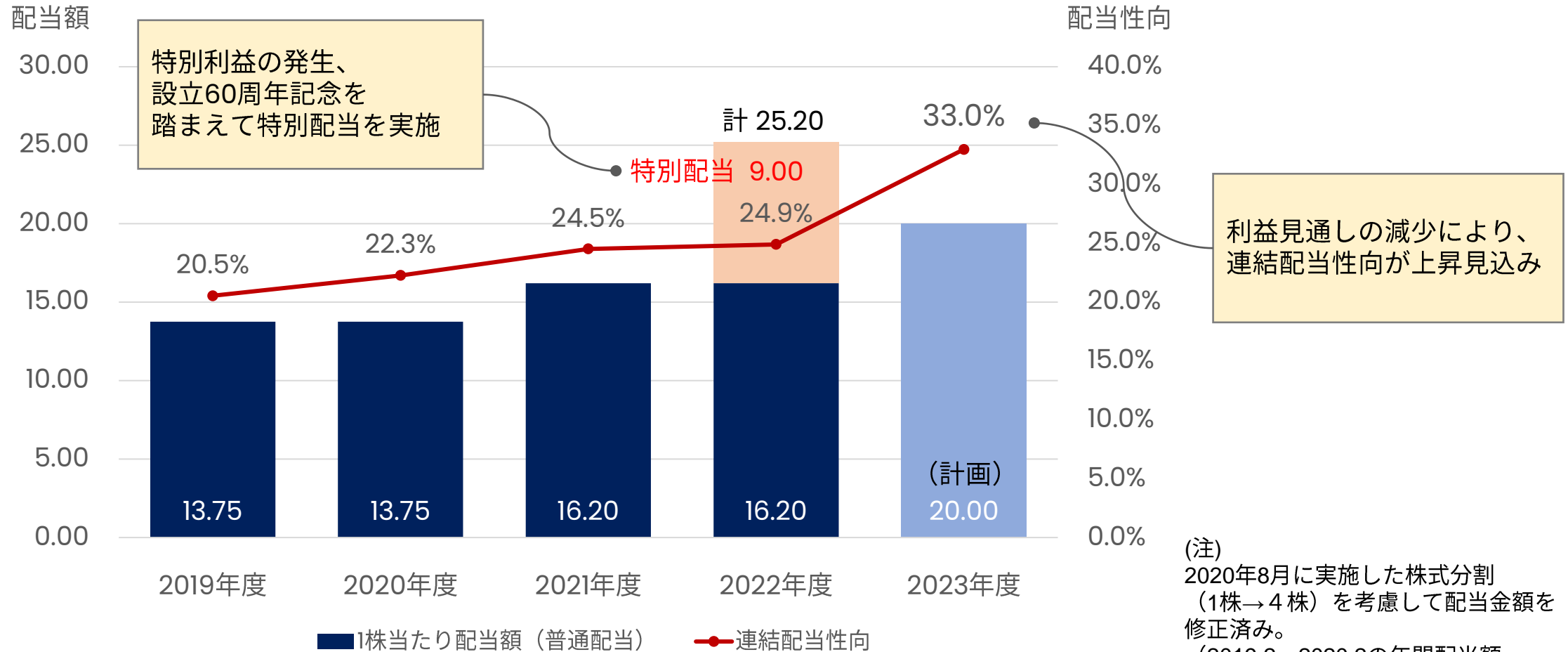
# 1. 業績予想の修正

- 足許の受注動向を踏まえ、通期の売上見通しを下方修正。
- 売上減少に伴い、売上総利益以下の各利益も期首時点の業績予想から下方修正。

(単位：百万円)	2022年度	業績予想 (4/5開示)		業績予想 (10/2開示)					
	金額	金額	構成比	金額	構成比	前期比		当初計画比	
						増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	26,505	28,000	100.0%	<b>22,000</b>	100.0%	▲ 4,505	▲17.0%	▲ 6,000	▲21.4%
売上総利益	5,753	6,496	23.2%	<b>4,794</b>	21.8%	▲ 958	▲16.7%	▲ 1,701	▲26.2%
販売費及び一般管理費	3,949	3,696	13.2%	<b>3,694</b>	16.8%	▲ 255	▲6.5%	▲ 1	▲0.0%
営業利益	1,803	2,800	10.0%	<b>1,100</b>	5.0%	▲ 703	▲39.0%	▲ 1,700	▲60.7%
経常利益	2,219	2,830	10.1%	<b>1,450</b>	6.6%	▲ 769	▲34.7%	▲ 1,380	▲48.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,665	2,000	7.1%	<b>1,600</b>	7.3%	▲ 1,065	▲40.0%	▲ 400	▲20.0%
1株当たり当期純利益	101.21円	79.88円	—	<b>60.65円</b>	—	▲ 40.56円	▲40.1%	▲ 19.23円	▲24.1%

## 2. 配当予想

- 配当予想は、期初計画から変更なし。



3

トピック紹介



## ■東京証券取引所プライム市場へ上場市場区分を変更

- 2023年5月17日に、当社株式が東証スタンダード市場から東証プライム市場へ上場市場区分を変更いたしました。
- これまで当社グループをご支援くださいました株主の皆さまをはじめ、多くの関係者の皆様からのご支援に深く感謝を申し上げます。
- 「ものづくりのグローバルメーカーとして新しい価値を創造し、ヘルスケア産業の発展と人々の健康・福祉に貢献する。」というMISSIONのもと、プライム上場企業に相応しいグローバル企業として持続的な成長と中長期的な企業価値の向上、社会課題の解決に尽力してまいります。

### <これまでの歩み>

1946年：創業

1963年：瑞光鉄工（株）設立

1989年：大証二部に株式上場

2013年：東証と大証の統合により、東証二部に移行

2022年：東証の市場区分の見直しに伴い、東証スタンダード市場に移行

2023年：東証プライム市場に市場区分変更



## ■瑞光インドがプネーに移転

- 2023年4月に、ZUIKO India Private Limitedがベンガルール（バンガロール）からプネーに移転しました。
- 移転に伴って新たに作業工場も設立し、これまでの営業拠点としての機能に加えて、機械の保守サービスやユニットのオーバーホールをお客様に提供可能な体制となりました。
- 新拠点は西インドの港に近く、中東やアフリカ大陸へのアクセスが向上します。これらの地域のお客様の保守サービスにも対応してまいります。
- 中期経営計画に掲げたインド向け売上高50億円の達成に向けて、人口増加と生理用品の浸透率の向上が見込まれるインド市場において小児用紙おむつ製造機械や生理用ナプキン製造機械を中心とした需要の取り込みを図ります。

### **ZUIKO India Private Limited**

32A/5, Hadapsar Industrial Estate,  
Hadapsar, Pune-411013  
Maharashtra, India



## ■瑞光インドネシアが新工場に移転

- 2023年7月にPT. ZUIKO Machinery Indonesiaの新工場が竣工しました。
- PT. ZUIKO Machinery Indonesiaは2015年8月に設立され、当社グループの機械を納入したお客様に対して改造や部品販売等のアフターメンテナンスを担ってきました。
- 新工場はジャカルタ郊外のブカシ地区に位置し、高速道路のインターチェンジまで車で約9分と好立地にあります。
- 今後も人口増加と経済成長の見込まれるインドネシアでは、小児用紙おむつや生理用ナプキンの需要も引き続き拡大が期待されます。地域に根差したカスタマーサポートと、お客様の期待を超える技術・サービスを提供し、更なる発展に取り組めます。

### **PT. ZUIKO Machinery Indonesia**

Jl. Kenari Utara II Blok D No. 12, Lippo Cikarang,  
Desa Cibatu, Kec. Cikarang Selatan, Kab. Bekasi,  
Jawa Barat -17530 – Indonesia





## IRに関するお問い合わせ先

株式会社瑞光 経営戦略部

電話：072-648-2215

e-mail：[ir-contactus@zuiko.co.jp](mailto:ir-contactus@zuiko.co.jp)

本資料に掲載している将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいています。そのため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性があります。